

# 平成27年度長野県農業大学校評議委員会ご意見・ご提言

長野県農業大学校

領域	対象	評価項目	ご意見・ご提言
教育活動	学習指導	総括	<p>○これからの農業経営者には将来への強い意志が必要であり、農業の面白さが解る、農業に夢を持てる考え方や取り組みができるような人材を育成して欲しい。</p> <p>○農業者が不足し、農業が危機的な状況にある中で、進路決定率が100%だからいいということではなく、危機感を持って、後継者育成のために評価の低い項目は徹底的、集中的に改善されたい。</p>
		授業実習内容の充実	<p>○農業は、同じ作業を1年に1度しかできない。今やらなければならないことは今やる、ということを指導して欲しい。</p>
			<p>○農業経営を行う上で、自分の作った物を消費者に説明、PRできるプレゼンテーション能力や販売先を見つける能力が必要である。マルシェ等によりその能力を伸ばして欲しい。</p> <p>また、ネットやメディアを使ったPR方法も学生に研究させて欲しい。</p>
			<p>○農業機械の修理には大きな費用がかかる。生産費の中で修理費の占める割合の大きさやメンテナンスの大切さ、機械を長持ちさせる方法を教えて欲しい。</p>
		既存コースカリキュラムの充実	<p>○今後の農業の方向性として6次産業化が挙げられるので、学校としても対応されたい。</p>
	実践経営者コース運営の円滑化	<p>○実践経営者コース1期生が就農し、継続的に新しい経営に取り組んでいることそのものが大きなPRとなる。</p> <p>○実践経営者コースの問題点、課題を整理され、応募者確保や円滑なコース運営に努められたい。</p>	
進路指導	個々に適した進路選択・実現と円滑な就農の推進	<p>○農業高校から大学へ進学し、営農指導できるような人材育成も求められている。JA技術員等を希望する学生の進路実現にも対応されたい。</p>	
		<p>○農業とは特殊で、レベルの高い職人型の仕事であり、特別な勉強や自己啓発意欲、プライドを持つことが必要であること、経営が自立するためには生半可なことではないことを教えて欲しい。</p> <p>○農業のことを解らずに入学してくる者もいると思うので、最初に農業の厳しさを教えて欲しい。</p>	